

満月の夜開く けいはんな哲学カフェ

第51回「ゲーテの会」

未来に向かう人類の英知を探る

— 時代の裂け目の中で、人々は何に希望を見出してきたか —

《思想・文学分野》

「人間」とは、何だろうかー日本思想・3人の戦い

講師： 日本大学危機管理学部教授 **先崎彰容**先生

【講演要旨】 近代日本の思想家は、ドイツを中心とする西洋哲学・思想の影響を受けることで自己の考えを錬磨するとともに、同時代の日本国内の近接領域からの刺激を受けることで、思想を創りあげていった。

今回取り上げる、和辻哲郎・三木清・丸山眞男の3人は、こうした思想家の典型的事例である。この3人には、共通する興味関心が存在する。それは「人間」とは何かという問いである。それぞれ専門を微妙に異にする3人は、国内外の思想の影響下に、自らの「人間」イメージを提案した。その「人間」像はどのような特徴を持っていて、またどのような時代背景のもとに生まれてきたのだろうかー今回は、大正末期に日本文壇を席卷した「自然主義」文学運動をきっかけに、「人間」とは何かを考えた思想家たちの思いを追いかけていく。

【講師紹介】 1975年東京都生まれ。私立立教高等学校卒業。東京大学文学部倫理学科卒業。東北大学大学院日本思想史博士課程単位取得終了（文学博士）。この間、文部科学省政府給費留学生としてフランス国社会科学高等研究院に留学（2006 - 2007年、国際日本学専攻）。現在、日本大学危機管理学部教授。国際基督教大学アジア文化研究所研究員。NHKEテレ『ニッポンのジレンマ』、『クローズアップ現代+』、BSフジ『プライムニュース』他出演。

著書に『ナショナリズムの復権』（ちくま新書 2013年6月）、『違和感の正体』（新潮新書 2016年5月）。近刊予定に、『未完の西郷隆盛 - 日本の「近代」、150年を問う』（新潮選書）、全訳解説『文明論之概略』（角川ソフィア文庫）。

日時： 2017年9月7日(木)18:00～ 20:30
会場： 公益財団法人国際高等研究所
参加費： 2,000円(交流・懇談会費用を含む)
定員： 40名(申し込みが定員を超えた場合は抽選)
申込： 裏面のURLからお申込みください
詳細： <http://www.iias.or.jp/communication/goethe>
締切： 2017年9月4日(月)

 公益財団法人
国際高等研究所
International Institute for Advanced Studies

けいはんな「ゲーテの会」とは・・・

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。高等研にあるゲーテの胸像はその理念のシンボルです。満月の夜は高等研で、人類の未来と幸福・けいはんな学研都市の将来について一緒に考えてみませんか。

